

日本代表選手選考について(補足説明)

先般実施いたしました、SBS 本戦ならびにクルー決定レースの結果を踏まえ、JOC 派遣となるアジア競技大会(9月:中国・杭州)および FISU ワールドユニバーシティゲームズ(WUG)(6月:中国・成都)につきましては日本代表選手を、シニア/U23/U19 世界選手権については日本代表候補選手を選考し、理事会承認を前提に公表しておりますが、理事会承認を得て、正式に決定しましたので、お知らせいたします。

なお、複数の国際大会への同時の日本代表選手選考となりましたが、選考方法等に関して、以下のとおり補足説明をいたします。

1. 選考方法について

- (1) 選考レースについては、出場選手および所属チームへ、オープンと軽量級を統合し(シニアとU23は当初より混合)、かつ、6レーンにて実施することを事前に説明し、4月7日～9日のレース結果に基づき、男女シングルスカル、男女ペア、U19男女シングルスカルの6カテゴリーに分け、レース組み合わせ(プログレッションシステム)、レースコンディションが異なることを考慮し、FINAL A(1～6位)を最も上位に、次いで、FINAL B(7～12位)、FINAL C(13～18位)として、選手全員のランキングをつけた。
- (2) JOC 派遣であるアジア競技大会および WUG についてはそれぞれの派遣選手人数枠(アジア競技大会は男女7名ずつ計14名、WUGは男女4名ずつ計8名)、各カテゴリー世界選手権へは派遣目標等を勘案し、前項ランキングを指標に、各選手のエントリーカテゴリー、種目間の%IDT比較等考慮し、上位より選考を行った。
- (3) シニアカテゴリーについては、4月10日～12日に事前に選手に評価方法を説明し、クルー決定レースを実施した。
軽量級およびオープンダブルスカルについては、初日(4月10日)の結果でランキング上位1位、2位の組み合わせが勝ったことから、評価を終えた。
一方、男子4-については、SBS 本戦ペア決勝時のレースコンディション等を考慮し、ペアの組み合わせを変え3レースを実施することとし、3レースのペアごとの平均タイムで上位2クルーを選考した。

2. シニア世界選手権への派遣について

選考方針では、「アジア競技大会を最優先大会に位置づける」旨、明示しているが、アジア競技大会と世界選手権の両方への出場が日程的に困難であること、パリ五輪の出場権獲得をめざす来年の世界選手権(9月:ベオグラード)までの期間、世界の強豪と並べて現在の立ち位置

を確認する重要な機会であること等を考慮し、軽量級ダブルスカル、オープンシングルスカルのトップクルーを世界選手権へ派遣することとした。

なお、アジア競技大会においても、最低限前回大会を上回るメダル獲得(金-1、銅-2)をめざすこととしている。

【お詫び】

重要な選考指標の一つである%IDTの基礎となる2022年IDTテーブルのうち、「U23/WUG IDT テーブルの男女軽量級 1x」の数値に誤りがありました。

シニアのIDTテーブルを基準に、U23/WUGはその98%、U19はその95%に設定していますが、シニアと同様の処理(非オリンピック種目である男女軽量級 1xの調整—2021.11.30付シニア選考方針 3-(3)項 2022年IDTに関する補足説明③項)を怠ったため誤りが生じました。

なお、WUG日本代表選手の選考結果について影響がないことを申し添えます。

以 上

(添付資料)

- (1) 2022年 SBS FINAL 男子順位および%IDT
- (2) 2022年 SBS FINAL 女子順位および%IDT
- (3) 2022年 クルー決定レースの結果一覧